

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【公表番号】特表2008-535377(P2008-535377A)

【公表日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-504060(P2008-504060)

【国際特許分類】

H 04 B 1/16 (2006.01)

H 03 G 3/20 (2006.01)

H 03 G 3/30 (2006.01)

【F I】

H 04 B 1/16 R

H 03 G 3/20 E

H 03 G 3/30 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月18日(2009.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ウォームアップ時間と該ウォームアップ時間に関連する受信路とを有する高周波(RF)受信機回路における方法であって、該RF受信機回路は利得と該利得に関連するベースバンド路とを有する少なくとも1つのベースバンド・アナログ利得制御段を含み、該方法は、前記ウォームアップ時間中にDC補正計算処理を実行して、少なくとも1つの利得制御段の各々に対して第1の成分および第2の成分を有するDC補正值を得るステップを備え、前記ウォームアップ時間中にDC補正計算処理を実行するステップは、

前記ベースバンド路の第1の閉ループ補正を実行して、前記DC補正值の前記第1の成分を得るステップと、

前記受信路の第2の閉ループ補正を前記ウォームアップ時間中の利得に応じて実行し、前記DC補正值の前記第2の成分を得るステップとを含む、方法。

【請求項2】

高周波(RF)受信機回路であって、該RF受信機回路に関連するウォームアップ時間と有するRF受信機回路において、

少なくとも1つのベースバンド・アナログ利得制御段であって、該少なくとも1つのベースバンド・アナログ利得制御段に関連する利得を有するとともに、該利得を制御する制御信号を受信するための第1の入力と、第2の入力と、出力とを有する少なくとも1つのベースバンド・アナログ利得制御段と、

前記少なくとも1つの利得制御段に結合され、前記制御信号を生成し前記少なくとも1つの利得制御段に供給するための自動利得制御回路と、

前記少なくとも1つの利得制御段に結合され、該少なくとも1つの利得制御段からの情報を受信するためのDCオフセット補正回路と、を備え、

前記ウォームアップ時間中、前記少なくとも1つの利得制御段の第2の入力がアースに結合されて、第1の閉ループ補正が実行されてDC補正值の第1の成分が得られ、該DC補正值の該第1の成分が前記DCオフセット補正回路に記憶される、RF受信機回路。